

上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649 (代) FAX 0268-22-6714
URL : http://www.ueda-oroshi.or.jp/ E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

平成31年 新春を迎えて

理事長 桑原 茂実

上田冷蔵(株)



新年明けましておめでとうございます。平成最後31年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

平素は上田卸商業協同組合の事業活動に対し、心温まるご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

不透明さ増す経営環境 変化への即応を

昨年是我が国経済も、堅調な世界経済を背景に、緩やかな回復基調が続いてきたものとされています。しかし、米国のトランプ政権の保護主義的な政策が米中貿易摩擦の問題を生み、今や覇権争いと化してマーケットへ影響を与えており、先行きもいっそう不透明感を増しています。このような中で、私たち地方卸売業を取り巻く経営

報道されました。山梨県双葉ジャンクション経由、静岡市清水区まで延伸予定です(約13.2km)。当地域は、太平洋から日本海を中心となります。早くも先駆けで人手不足、労務改善、経費削減の点もあります。弊社からトレーラーを牽引し、清水港でフェリー船に積み込み、九州のドライバースさんの待つ大分港まで海上輸送するルートも実験中です。

環境は、流通構造の変化、消費者マインドの低迷が続き、厳しさを増しています。また、人口減少社会、地方創生の流れ、人手不足の中、働き方改革関連法案が施行され、「生産性の向上」は必要不可欠となります。その対応のためのIT活用、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)導入などの活字を、毎日目にしています。中小企業、小規模事業者の我々も、研修・情報交換が必要であると考えています。

周辺「物流道路網」の整備がもたらす効果

言うまでもなく、私たち企業活動において物流「道路網」は大きな関わりがあります。昨年4月28日、中部横断自動車道が佐久南ICより八千穂高原ICまでの14.6kmが延伸しました。南佐久郡、山梨への配送は格段に向上し、多くの観光客が白駒池、駒出池の八千穂高原一帯へ訪れたと

「あきんど市」を地域・消費者との接点に

組合員と取引先が出店し、地域住民を対象に物品を販売する、恒例の『あきんど市』も昨年7月8日に10周年を迎えました。はっきりしない天気のおかげで、1625名の方の来場を頂きました。これを機に、地域への感謝と還元を目的に、上田市社会福祉協議会へ車椅子2台を寄贈しました。このことは、協議会の市内全戸配布の広報紙にも載せて頂きました。今後も、組合員同士のコミュニケーション、また、卸売業としては普段あまり関わりのない消費者との接点の場として、発展継続していきたいものです。

維新150年を経て 郷土の先人に感銘

昨年2018年、日本商工会議所の観光振興大会が開かれた会津若松市では『戊辰戦争』150周年イベントが、秋の研修旅行先の下関市では『明治維新』150周年事業と、相反する冠を付けた都市を訪れる機会に恵まれました。先日、その幕末の動乱に大きく影

結びに

響を与えた松代藩士、兵学者、朱子学者で有名な佐久間象山先生が祀られている神社を参拝しました。境内には新たに、全国的に店舗展開する紳士服専門店の会社が創業60周年を記念して寄贈した佐久間象山像は、地球儀を持ち、熟視して見ました。江戸時代後期に信濃から世界に目を向け、将来の日本のあるべき姿を構想した先見性と国を想う情熱に感動、感銘しました。傍らには門下生であった吉田松陰、勝海舟、橋本左内、坂本龍馬ら多くの志士たちの胸像も奉納されていました。

昨年は全国で台風、地震など自然災害も多く、組合のBCP策定も急がねばなりません。混迷を増す世の中ですが、地域経済の活性化に向け、中核的役割を果たす気概を持ち事業に取り組んでまいります。組合員はじめ、関係各位には引き続き倍旧のご支援、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

役員新年のごあいさつ



2019年年度挨拶
副理事長 高橋 牧尋
(株)新村

上田卸団地の運営状況も直近12月迄では前年実績をクリア出来ました。これも組合員各社皆様のご協力の賜物と感謝を申し上げます。引き続き年間度クリアが出来ます様、運営に努めてまいります。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶びを申し上げます。

●2018年を振り返り
昨年は一文字漢字が「災」であった様に、全国各地で連日猛暑が続く、強烈な台風や記録的な豪雨水害、強い揺れの地震が数多く起きた年ではなかったでしょう。特に記憶に新しい、北海道の胆振東部地震の様は本当に自然の力の大きさを痛感し、また「災害大国」であることを改めて思い知らされた事と、防災の大切さを身に染みて感じる光景でした。

反省の弁を述べております。

新しい元号が始まる今年、米中貿易摩擦が引き金となり、為替市場は「円高株安」と波乱の幕開けとなりました。また、今年には増税も予定されており、どんな年になるのか解りませんが、干支は「亥」です。「猪突猛進」の格言もありますが、農業の分野では被害も出ております。がむしゃらにではなく、その時々状況をよく見てスピード感をもち、知恵を働かせて企業価値を高める様、二人の監督の言葉ではあります。平成30年間は「明と暗」がありますが、色々な出来事が起き、世の中も上田卸団地も大きく変わって来たのではないのでしょうか。

●新たな時代を
チャレンジ精神をもつて迎える
今年、30年続いた元号平成が終了し、5月1日より新元号に代わる新しい出発の年であります。平成30年間は「明と暗」がありますが、色々な出来事が起き、世の中も上田卸団地も大きく変わって来たのではないのでしょうか。

箱根駅伝で総合優勝を果たした東海大の両角監督はその日、選手に「我々は王者ではない。チャレンジャーである」と言って選手に更なる飛躍を促し、連覇を阻止された青山学院大学の原監督は「チャレンジする気持ち、少し低下していた」と、

役員新年のごあいさつ



2019年のご挨拶
副理事長 堀 健二
長野県連合青果(株)

から導入され、生産性向上や人手不足解消につながると思われ。5月には新天皇の即位が行われ新元号になり、10月からの消費税増税はあるものの、良好な雇用環境が続く中で、個人消費も堅調に続くものと思えます。

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

●2019年を
更なる発展に向けて
今年には己亥であり、己は決まりや道筋を意味し、亥は新たな生命が種子の中に閉じ込められた状態を指し、次世代に向けてエネルギーを蓄積する準備期間と位置づけられます。

●2018年概観
2018年は、米中貿易摩擦の深刻化、中国景気の減速、混迷する中東情勢など、不透明さが増した年でありましたが、日本経済は雇用環境も良好であり、雇用所得も増え、個人消費も底堅く推移しました。

●結びに
今年も上田卸商業協同組合の業績拡大に向け、組合員各社の皆さんのご指導ご協力を賜ります様お願いを申し上げます。各企業のご隆盛と各企業の皆さんのご健勝をご祈念申し上げます。

●働き方改革で
生産性向上に期待
2019年の日本経済は、昨年6月に働き方改革関連法が設立し、「同一労働同一賃金」が4月

組合員の異動

(株)矢島が新社屋にて営業を開始

昨年4月に組合に加入しました(株)矢島の本社・新社屋が、卸団地内(旧(有)丸せん跡地)に完成。11月27日より、営業が開始されました。同社の事業内容は、工具・工作機械卸売業。



平成31年新年会を開催

1月22日(火)・上田市「香青軒」において、平成31年卸団地新年会が盛大に開催されました。新年会は午後6時30分に開会され、桑原理事長のご挨拶で始まりしました。

ご来賓には、上田市長 土屋陽一様、上田商工会議所 専務理事 金子義幸様、商工組合中央金庫長野支店 支店長 高原清志様、八十二銀行上田支店 執行役員支店長 佐藤信司様、長野県中小企業団体中央会東信事務所 所長 畑山佳久様をお招きし、土屋市長様、高原支店長様よりご祝辞をいただきました。

続いて、昨年11月に、産業振興功績により藍綬褒章を受章されました(株)デンセン 代表取締役社長 若林順平様に、桑原理事長から受章祝いが贈呈されました。

今回、初めて出席された組合員の方々も多数おられ、組合員同士、また、ご来賓の皆さまと懇親を深める良い場となり、祝宴は大いに盛り上がりを見せました。出席者は、35名。



桑原理事長のご挨拶



土屋市長様からご祝辞をいただきました。



高原支店長様からご祝辞をいただきました。



若林社長からお祝い贈呈の返礼のご挨拶



佐藤支店長様に中締めのご挨拶をお願いしました。



ご来賓の皆さま

事業報告

10月～11月

秋の花苗配付

10月22日(月)
年2回の花苗の配付。
今回は色とりどりのピオラの苗を配付しました。



大感謝祭

10月11日(木)
午前7時から午後1時まで開催。来場者数138名と、こ
としも大感謝祭は盛況でした。



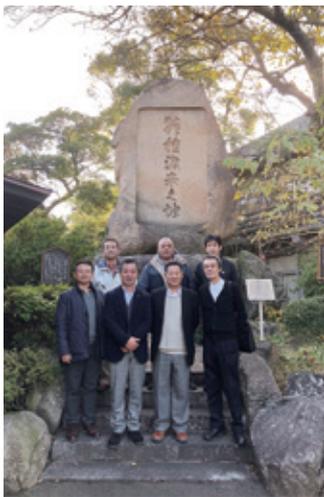
秋の一斉清掃

10月23日(火)
組員・賛助会員等、54名の参加が
ありました。



費税軽減税率制度 の講習会を開催

11月19日(月)
平成31年10月1日に予定されている消
費税の引き上げに備えて、全国卸商業
団地協同組合連合会の後援により講習
会を開催、15名が出席。



役員視察研修を実施

11月22日(木)・23日(金) 山口県下関市を訪問・視察

「蚕都上田」の源として
絹の糸で上田市と絆の
深い、下関市・忌宮神
社を視察しました。写
真は、中国から初めて
蚕種が渡来したとされ
る「蚕種渡来之地」記念
碑にて。境内には、上
田市・上田東高校同窓
会から寄贈された「し
だれ桑」が植樹されて
います。



「第36回下関さかな祭」の開会式風景(下
関漁港)。主催は、当組合「あきんど市」
にも出店されたことのある下関商工会議
所。ふく・くじら・あんこう鍋、ふく刺
し等が安価で提供され、当日は午前のみ
の開催で、約5万人が来場とのこと。



環境委員による 側溝清掃

11月29日(木)
昨年に続き、環境委員による側溝・道路
の清掃。一斉清掃では手の届かなかった
汚泥等の清掃作業を行いました。

組合の動き(抜粋)

(会議などの出席状況)

- 10月5日 関東申信越卸商業団地連絡協議会
(松本市・公設地方卸売市場 事務局長 理事会)
- 10日 大感謝祭 138名来場
- 11日 問屋町会
- 16日 食品部会
- 22日 秋季健康診断 44名受診
- 23日 秋季一斉清掃 54名参加
中間監査
- 25日 西部地域まじつくりの会防犯・防災部会(西部公民館)
五十嵐監事・事務局長
- 11月2日 事務主任者会東信支部通常総会(上田市・祥園) 事務局長
理事会
- 9日 商工中金会経理者担当会議(長野市・メトロポルタ長野) 久保田
理事長
- 13日 県火災共済第3回理事会(長野市・ホテル信濃路) 理事長
- 15日 中央会事務主任者会(長野市・メトロポルタ長野) 事務局長
創立50周年記念式典(長野市・メトロポルタ長野) 事務局長
法人会 税務研修会(上田市・サントミューゼ) 久保田
- 19日 消費税軽減税率制度説明会 15名出席
- 22、23日 役員視察研修(山口県下関市) 8名参加
- 28日 県卸商業団地連絡協議会(松本市・公設地方卸売市場) 事務局長
卸売問題懇談会(松本市・公設地方卸売市場)
理事長・高橋副理事長・事務局長
- 29日 青年中央会県大会(長野市・メトロポルタ長野)
環境委員会 団地内側溝清掃
- 12月13日 理事会
- 18日 中央会上下支部役員会(上田市・祥園) 理事長・事務局長
- 19日 環境委員会
- 21日 西部地域まじつくりの会防犯・防災部会(西部公民館) 五十嵐監事
- 30日 年末年始休業 1月4日まで
- 1月4日 市内関係先挨拶回り 理事長・事務局長
- 8日 上田商工会議所新年賀詞交換会(上田商工会議所) 理事長
理事会
- 22日 卸団地新年会(上田市・香青軒) 35名